AudioComm®

AM/FM デジタル表示ラジオ

RAD-F270N

保証書付 取扱説明書

AudioComm AM/FMデジタル表示ラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保存してください。

（キリトリ線）

保証書 持込修理

商品名	AM/FM デジタル表示ラジオ			★お買い上げ日：　年　月　日
型番	RAD-F270N	品番	07-7709	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　様			
	★ご住所 〒　ー　電話　（　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話　印			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006 ●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-7709A

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって「警告」と「注意」の二段階で表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

- ❗ 記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
- ⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

⚠ 警告

運転、歩行中の使用について

- ⃠ 禁止 ・自動車、オートバイなどの運転をしながら操作をしたり、ディスプレイを見たりしないでください。交通事故の原因となります。
- ❗ 強制 ・車の中でお聴きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- ❗ 強制 ・歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物が入った場合、煙や異臭、異音が出たり、落下して破損した場合はスイッチを切る

- ❗ 強制 ・そのまま使用すると、故障の原因となります。すぐに電源を切り、乾電池を取り外し、お買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

大音量で聴かない。

- ⃠ 禁止 ・周囲の音が聴こえる程度の音量でお聴きください。

雷が鳴り出したら、屋外での使用を中止する。

- ⃠ 禁止 ・落雷により、感電、やけど、機器の故障の原因になります。使用しているときはすぐに機器から離れてください。
- ・山小屋や簡易住宅などでは使用を中止してください。

機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない。

- ⃠ 禁止 ・故障・火災の原因になります。

分解・修理・改造しない。

- ⃠ 禁止 ・故障・感電の原因となります。修理はお買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

水に浸したり、水の中では使用しない。

- ⃠ 禁止 ・本機は、防滴仕様ではありません。水中に入れないように、また水がかからないようにご注意ください。故障の原因となります。

⚠ 注意

大音量で長時間続けて聴きすぎない。

- ⃠ 禁止 ・耳を刺激するような大きな音で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ・まわりの人に迷惑にならないように音量に気をつけてください。

乾電池を出し入れするときは、電源を必ず切る。

- ❗ 強制 ・突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。音量は徐々にあげましょう。

安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電や故障の原因となることがあります。

- ❗ 強制 ・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団等の不安定な所に置かない。
- ・湿気やほこりの多い所、湿気や油煙が当たるところに置かない。
- ・暖房器具のそばや、直射日光が当たる所、窓を閉めきった自動車の中（特に夏季）等の高温になる場所に置かない。
- ⃠ 禁止 ・布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。
- ・振動の強い場所に置かない。
- ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所に置かない。
- ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所に置かない。
- ・磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところに置かない。

録音したテープ、キャッシュカード、定期券などを本機のスピーカー部に近付けない

- ⃠ 禁止 ・大切な磁気情報に影響を及ぼす場合があります。

電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠ 警告

- ・乾電池が液もれしたとき
  液が本体内部に残ることがあるため、使用を中止し、お買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
  液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体についたら水でよく洗い流してください。
- ・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
- ・充電しない。
- ・火の中に入れない。
- ・ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- ・水などで濡らさない。
- ・乾電池は金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。乾電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意

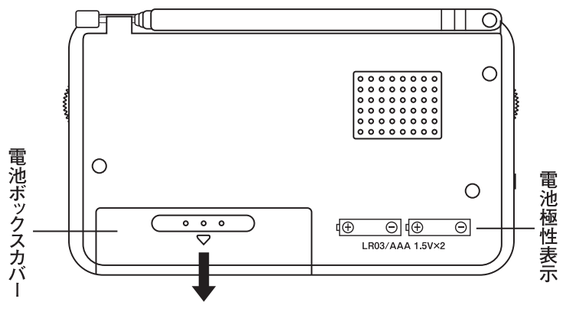
- ・使い切った電池や長時間使用しないときは電池を取り外す。入れたままにすると、乾電池の液漏れで故障し、発熱、けが、汚損の原因になります。
- ・新しい電池と消耗した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- ・指定以外の乾電池は使用しない。
- ・乾電池は幼児の手の届かないところに保管する。

使用済み電池を廃棄するとき

使用済みの電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って廃棄してください。

電池の入れ方（電池交換の方法）

本機背面



1. 本機背面の電池ボックスカバーのくぼみ部分を押しながら、下にスライドさせます（上図参照）。
2. 電池ボックスに、単4形乾電池2本（別売）を入れます。
   電池ボックス右横に表示されているプラス（＋）、マイナス（－）の電池極性表示通りに正しく入れてください（上図参照）。
3. 電池ボックスカバーを、項目1.と逆の手順で閉めると、乾電池の装着完了です。

※電池交換は手早く行ってください。電池を外した状態が約20秒以上続くと、設定した現在時刻や受信局メモリーが消失します。
設定が消失した場合は再度設定し直してください。
※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。
※音が小さくなったり、音量を上げると歪んだりする場合は、乾電池を新しいものと交換してください。

お手入れの仕方

キャビネットの汚れは柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。
殺虫剤やヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色や変質の原因となることがあります。

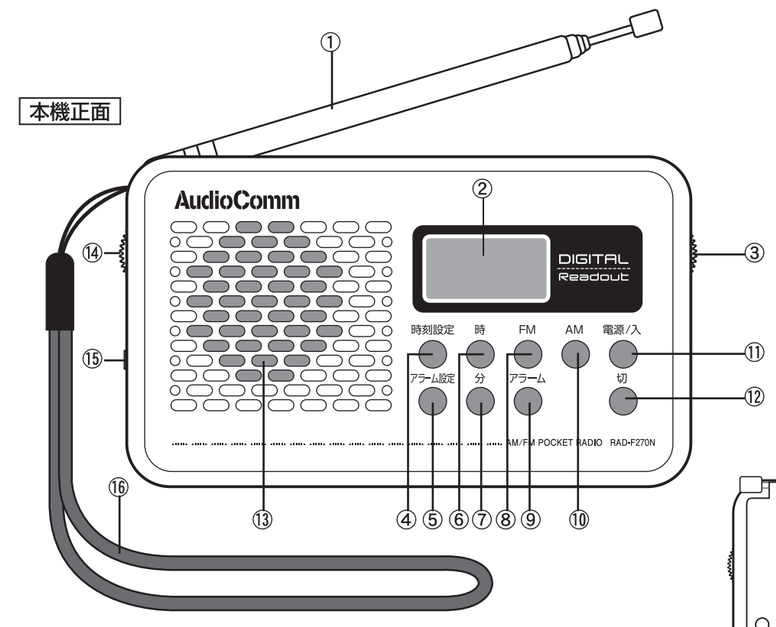
主な仕様

受信周波数	AM 530－1605 kHz
	FM 76－108 MHz
電源	DC3V 単4形乾電池×2本（別売）
電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約55時間、FM受信 約54時間 イヤホン使用時 AM受信 約67時間、FM受信 約66時間 （アルカリ乾電池使用、音量中程度として）
外形寸法	幅105×高さ63×厚19mm（突起物含まず）
質量	約87g（乾電池含まず）
付属品	イヤホン ハンドストラップ（本体装着済み）

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

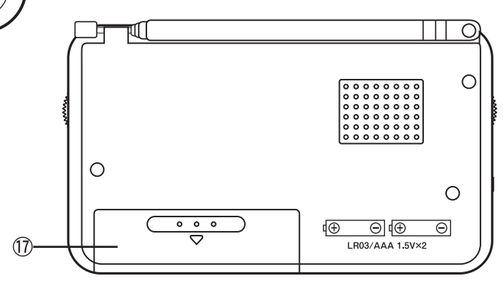
各部の名称

本機正面



① FMロッドアンテナ
② ディスプレイ
③ 選局ツマミ
④ 時刻設定ボタン
⑤ アラーム設定ボタン
⑥「時」設定ボタン
⑦「分」設定ボタン
⑧ FMボタン
⑨ アラームボタン
⑩ AMボタン
⑪ 電源/入ボタン
⑫ 電源/切ボタン

本機背面

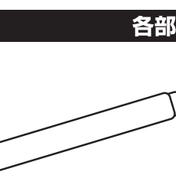


⑬ スピーカー　⑭ 音量調節ツマミ　⑮ イヤホンジャック
⑯ ハンドストラップ（本体装着済み）　⑰ 電池ボックスカバー

時刻設定をするには

1.ディスプレイの時刻表示は、工場出荷時には「AM 12:00」になっています。

2.まず「時」の設定をします。
時刻設定ボタンを押しながら、「時」設定ボタンを押すと、「時」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。ディスプレイ上部に「AM」と表示されているときは「午前」、「PM」と表示されているときは「午後」を表わしています。



3.次に「分」の設定をします。
時刻設定ボタンを押しながら、「分」設定ボタンを押すと、「分」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。
ボタンから手を離すと時計が動作し始め、時刻の設定が完了します。

ラジオを聴くには

1.本機左側面にある音量調節ツマミを下方向にまわしてください。
（電源を入れたときに突然大音量でラジオが鳴るのを防ぐため、音量を絞ります）

2.本機前面の電源/入ボタンを押します。FMの受信状態になります。
※本機は仕様上、電源を入れたときのバンドは必ずFMになりますのでご注意ください。

3.AMをお聴きになりたい場合はAMボタンを押します。AMの状態からFMをお聴きになりたい場合はFMボタンを押します。

4.選局は、周波数がディスプレイに表示されますので、選局ツマミを回しながら聴きたい放送局を選びます。信号がない場合は雑音が出ます。
お好みの音量になるように音量調整ツマミで調整してください。
※ラジオのステレオ放送はすべてモノラル 受信となります。

5.電源を切るときは、本機正面の電源/切ボタンを押してください。

注 意

※本機はアナログ方式で受信した周波数をデジタル表示するという仕様です。その特性上、ご使用状況により実際の周波数と表示されている周波数にずれが生じる場合があります。その場合、もっとも良く聴こえるように選局を調節してください。
※電車、トンネルや地下鉄の中、地下街などでは、電波状態が悪く聴こえないことがあります。
※近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。
※持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
※本機はテレビ音声の受信は出来ません。

●AM放送の受信状態を良くするには

本機にバーアンテナが内蔵されていますので、本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。

●FM放送の受信状態を良くするには

アンテナをのばして一番よく受信できるように調整してください。

・AM放送の送信所の近くでは、音の歪みや混信の発生する場所があります。

イヤホンの使用

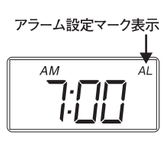
イヤホンでお聴きになる場合は、本機左側面にあるイヤホンジャックに付属のイヤホンのプラグ（φ3.5mmミニプラグ）をしっかりと差し込んで、耳にイヤホンを装着します。
その後、適度な音量に調節してお聴きください。
※プラグを抜く際も音量を絞った状態で行ってください。
※イヤホン使用時はスピーカーより音は出ません。
※音声出力はモノラルです。

FMラジオアラーム設定をするには

1.FMラジオをアラームとしてお好みの時間に鳴らすことができます。
FMボタンを押して、あらかじめアラーム設定したいFMラジオ局を選局して、好みの音量に調節しておきます。

※タイマー動作待機中に音量調節ツマミと選局ツマミを動かさないでください。アラーム動作時間に音量が小さくなって音が出なかったり、設定したラジオ局の周波数がずれてしまい、雑音が入ったりすることがあります。
※アラーム設定は、FM放送のみ有効です。AM放送では設定できません。

2.電源オフの状態で設定します。アラーム設定ボタンを押すと、ボタンを押している間、アラーム設定時刻と *AL* マークが表示されます。
アラーム設定時刻は、工場出荷時には「AM 7:00」になっています。



3.まずアラーム設定時刻の「時」の設定をします。
アラーム設定ボタンを押しながら、「時」設定ボタンを押すと、「時」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。ディスプレイ上部に「AM」と表示されているときは「午前」、「PM」と表示されているときは「午後」を表わしています。

4.次にアラーム設定時刻の「分」の設定をします。
アラーム設定ボタンを押しながら、「分」設定ボタンを押すと、「分」の数値が増えます。
長押しすると数値が順次増えます。

5.アラーム 設定ボタンから指を離すと、*AL*マークが消えて現在時刻が表示されます。
アラームボタンを押すと、((•)) マークが表示され、アラーム 設定が完了します。
アラーム設定をキャンセルするには、アラーム ボタンをもう一度押します。((•)) マークが消えます。

※「アラーム 設定時刻」を確認するには、アラーム 設定ボタンを押します。ボタンを押している間「アラーム 設定時刻」が表示されて、ボタンから指を離すと現在時刻の表示に戻ります。
※イヤホンやヘッドホンがつながれていると、スピーカーからは音は出ませんのでご注意ください。

6.アラームを解除するには、アラームボタンを押します。
アラームを解除しないと、ラジオは約60分間鳴り続けます。
アラームを解除しないと、電源を押しても電源は切れません。

故障かなと思ったら

ご相談になる前に、もう一度下表を参考に点検してください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

現象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認（残量がない場合は電池を交換）。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

保証書とアフターサービスについて

●この商品には保証書を添付しております。お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取り、大切に保管してください。必要事項の記入漏れは、すぐに販売店にお申し付けください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。
●調子が悪いときは修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
●保証期間が過ぎた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げ店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006 ●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-7709A

（キリトリ線）

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例:業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。